

川崎市に集積する大手企業約 20 社が集結！ 企業の枠を超えた“カオスな共創”から新プロジェクトを創出 「KAOS Projectthon 2026」を開催します！

川崎市は、令和 8 年 9 月 10 日（木）及び 9 月 30 日（水）の 2 日間、市内大手企業約 20 社とともに、組織の枠を超えた共創プロジェクトの創出を目指すイベント「KAOS Projectthon（カオス・プロジェクトソン）2026」を、川崎市役所本庁舎及び東芝総合研究所イノベーション・パレット（幸区）で開催します。

本イベントには、川崎市にゆかりのある大手企業約 20 社の新規事業・研究開発部門を中心に約 70 名が参加します。参加者は企業や行政の枠を超え、社会課題の解決に向けた川崎の未来像を描き、その実現に向けた共創・協業プロジェクトを検討します。

なお、本イベントは関係者限定で実施するため、一般の方は参加できません。

2 日目の最終発表では、市長や企業・大学の幹部に対し、参加者が創出したプロジェクトを発表します。

川崎に集積する多様な企業の連携から生まれる新たな共創プロジェクトの創出を目指します。

■日時・会場

Day1：令和 8 年 9 月 10 日（木） 15 時 00 分～18 時 00 分

川崎市役所 本庁舎 2 階ホール（川崎市川崎区宮本町 1 番地）

Day2：令和 8 年 9 月 30 日（水） 10 時 00 分～19 時 00 分

東芝総合研究所 イノベーション・パレット（川崎市幸区小向東芝町 1 番地）

■参加人数 大手企業の新規事業・研究開発部門の担当者 約 70 名

■主催 川崎市

共催 かわさき科学技術サロン

企画協力 川崎イノベーション・エコシステムプロジェクトチーム（※）

（※）ENEOS ホールディングス（株）、花王（株）、JFE ホールディングス（株）、（株）ゼネラル、（株）東芝、ニデック（株）、日本ゼオン（株）、日本電気（株）、富士通（株）、三菱化工機（株）、（株）レゾナック及び川崎市による官民連携のエコシステム検討チーム

KAOS（カオス）とは

KAOS（Kawasaki Accelerating Open Innovation Summit）は、川崎市が市内に集積する大手企業や研究機関と連携し、オープンイノベーションを加速させるために令和 8 年 2 月に立ち上げた取組です。川崎市に拠点を持つ企業の新規事業・研究開発担当者が組織の枠を超えて集い、将来の川崎の産業像や社会課題の解決に向けた共創プロジェクトを検討します。

目指すのは、川崎に集積する「技術・知・人材」を結集し、新技術を「爆速」で社会実装できるエコシステムを構築することです。多様な企業・人材が交わる“カオス”な環境から新たな産業や価値を創出し、「世界で一番未来を試せる街・川崎」の実現を目指しています。

Projectthon（プロジェクトソン）とは

Projectthon は、「プロジェクト」と「アイデアソン・ハッカソン」を組み合わせた造語です。アイデアソンが発想を、ハッカソンが試作を生み出す場であるのに対し、プロジェクトソンは、多様な参加者が共創しながら、未来構想から具体的なプロジェクトを生み出し、社会実装に向けた第一歩を踏み出すための実践型プログラムを目指したものです。

1 プログラム（予定）

Day1 では、各企業の参加者が、他企業や川崎市との協業・共創により社会実装を目指すテーマやアイデアを発表します。また、川崎市からも民間企業との連携を期待するテーマを提示します。参加者は関心のあるテーマごとに分かれ、テーマオーナーとの対話を通じて課題や目指す方向性への理解を深めます。

Day2 では、テーマオーナーを中心に 10～15 チームを編成し、社会実装を見据えた共創プロジェクトの創出に向けてグループワークを行います。グループワークで構築したプロジェクトの中から、参加者投票で選出された 5 チームが、市長や企業幹部に成果を発表します。発表に対して企業幹部が講評を行うほか、市長から川崎イノベーション・エコシステム形成に向けたメッセージを発信します。

2 注目ポイント

(1) 企業の枠を超えた「カオス」な共創（Projectthon）

市内大手企業約 20 社から多様なバックグラウンドを持つ参加者が集結します。テーマオーナーを中心に企業や立場を超えたチームを編成し、「川崎で爆速実装するプロジェクト」を 2 日間で構想します。異なる知見や技術が交わることで、新たな共創の可能性を創出します。

(2) 市内大手企業幹部・大学トップ層が集結

当日は、市長をはじめ、「かわさき科学技術サロン」の世話人や参加企業の役員・研究所長などが出席します。現場から生まれたアイデアに対しトップ層が直接フィードバックを行うことで、実効性の高いプロジェクト創出と組織間連携の促進を後押しします。

問合せ先

川崎市経済労働局イノベーション推進部 藤本
電話 044-200-3895 内線 28304